

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



本屋
のお姉さんの
秘密

本屋
お姉さん
秘蔵

カラ

こんちやー

ガキヤ

カラン

やあ、文香ちゃん
今日も頼むよ

あ…じゃあ…
奥へ、お願いします……



私、鷺沢文香は

アッ...

アッ...



叔父の借金の所為で
こんな事をさせられています...

アッ...

アッ...

アッ...
アッ...
アッ...





そ、そんな事...

グイグイ締付けてくるぞ! そんなに私のちんぽはいいのか?

あ、♡

ポッポッ

グイグイ



あ、♡

は、♡

スッ



スッ

グイグイ

スッ



あんっ

もっと...
優しく♡

ひゅんっ



お、お、お、お、お、お...!

んあっ

じゅぽっ

ん？

はげっ...
激しすぎて

じゅぽ



あ♡あ♡

あ♡

よし分かった
もっと強くだな

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



ズンズン

文香ちゃん...!
イクよ...!



は、はい...
どうぞ...!



ズンズン

ズンズン

い...つく...!

ビュッ
ビュッ♡

ビュッ

あ...
す...
ご...
せ...
る...



ズンズン

ありがとうございます...
ハイ、ごめす...

今日も良かったよ
文香ちゃん



ズンズン

ふっ



数日前
叔父が失踪した

どうやら店を担保に
借金をしていたらしい

おじ様がそれを
言うのはちよっと
酷いと思いますよ

不景気の世の中だ
周りの書店も
どんどん潰れていくし
しょうがない事なのだろうか

思い出深い叔父の店を
このまま潰してしまうのは
心苦しかったのでどうにか
ならないかと相談を試みた

借金をしていた相手が
小さい頃よく可愛がってもらって
いたおじさまだったのは
不幸中の幸いか

二つ返事でお店の権利書を
私にくれると言うのだ
———ただし条件つきで

今日は開店前に
黒木さんがやってきた



自分のお店のお営業前に
ムラムラきたから
発散したいとの事らしい

あ、あのっ
お客さんが来てしまうので
手短にお願ひ……しまっ

ズッ

ズッ

ズモ

もう少し早く
してくれると助かる
んですが……

嘘つきい ♡

あっ♡あっ♡
すぐ、終わるって♡

もしお客さんが来たら
どうするのかと訊ねると

結局開店時刻に
なっても離してくれず
そのまま奥の部屋に
連れ込まれました

ハッ ハッ ハッ

ハッ ハッ

「そしたら繋がったまま
レジ打ちやってみない?(笑)」

あ♡

あ♡

あ♡

たんっ

たんっ

たんっ

ちゅぽんっ

ガク

いや〜出た出た…
ありや、もうこんな時間か!
早く戻らねえと母ちゃんに
どやされちゃう!

と、ふざけながら
二時間はねちっこく
攻め続けられました…

は〜♡

は〜♡

自分のお店は良いのでしょうか
奥さんに怪しまれると思うの
ですが……

ガク

ヒッパ

次は高木さんです
最近ほぼ毎日来てる気がします

この人は来る度に
口淫を求めてきます…

正直あまり乗り気
ではありませんが
これもお仕事なので…

し、失礼します…

……

ほれほれ、文香ちゃん
早く早く！

はむっ…♡

しゅわんしゅわん

はむっ



そもそも高木さんも
あまり気持ちよくないのか
不機嫌そうな顔をいつもしています

ちゅっ
ちゅばっ
口の中に
おちんちんを入れる
と言う行為はやはり
慣れません……

色んな所を
舐めたり吸ったりしてみますが
イマイチ要領が分かりません……

あゝ文香ちゃん……
ちよつと強くするね



えいっ!!

!! ?

!!

!!



今日は皆の前で
恥ずかしい水着を
着せられました

殆ど紐みたいな水着で
裸よりも恥ずかしい気が
します……

おおー

こ、これ……もう尻が
丸出しですよ……

…おじさま達の趣味は
よく分かりません

それがいいんだよ
文香ちゃん

それにしても文香ちゃん…
えっちな身体に
成長しちゃったねえー

くうー！小さい時は
こんなおっぱいに
なるなんて思わなかった
のになあ！



スト...

いっ...

そ、それは...その...
汗です...

かっ

おやおや、始まって
間もないのにもう
こんなにして



それにこっちの方も...
...ん?

あ...っ
♡

ワッ

ワッ



畜生!
もう我慢できねえ!

カッ

このクソガキさつきから
俺達を雌の匂いぶんぶん
させながら
挑発してやがる!

うるせえ!
交尾すんのにゴムなんか
必要ねえんだよ!

あ、あ、の...う、う、は

きやっ!





こんなの経験したら
ゴム有セックスなんて
戻れない♡♡



な、なにこれ♡

こんなに気持ちいいなんて
馬鹿！頭が馬鹿になる♡♡



は、はい！♡

ふぁっ

おじさまのナマちゃんぽ
文香のナカを
えぐつて…♡とつても
気持ちいいです♡♡

おら、どうや文香ちゃん
ナマのが断然気持ちええやろ！

ズッ





こんな匂いかがされたら
頭がクラクラしちゃいます…♡

ドキッ

こんな…



ポッ

これすきい…♡

ヌッ



んちゅっ

すぢゅっ

んっ♡

こんな身体してるんだ
根は淫らな性格なんだろ

ぐぢゅっ

おお、自分から啜えに
いったぞ

んむっ♡

ちんちん…♡
おちんちん…♡

イクぞ…!!
受け止めろよ!

すげ…おしっこみたいに
ピューピュー射精してる…♡





なかに…射精されて…
イ、イっちゃいました…♡

こんなの体験したら…
もう中だししか
出来なくなっちゃう…♡

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ



あん♡



文香ちゃんの好きな
おちんちんはまだ
あるからね！

さ、休んでる暇はないよ
文香ちゃん



トロン…

ほら、皆に中出しされた
喜びをちゃんと見せないと

はあい、文香のおまんこに
ザーめん吐き出してくれて
ありがとうございますっ♥

叔父さん

こんな生活も案外
悪くないかもしれないです♥

END

■奥付

2013年8月12日

発行者
四万十川

印刷
みかんの樹 様

mail
rorinoutage3@yahoo.co.jp

twitter
rorinoutage

pixiv
62709

※この作品の無断での複製・転載・アップロード等
硬く禁じます。



THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS

FAN BOOK